

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大学英語支援室に外国人英語非常勤特任助教1名を常駐させ、論文添削や発表練習支援など74件の英語自習支援を行ったほか、基礎工学オーナーフラタニティープログラムで海外研修を企画し、オーナー学部学生(優秀な2年次学生)14名が参加するとともに、同プログラム学生が第4回サイエンス・インカレに参加し、プログラムメンバー1名がサイエンス・インカレ奨励表彰を受賞するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、JSTのERATOに「ERATO石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト」が新たに採択され研究を開始したほか、光量子操作による量子情報技術の研究が科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞するなど、成果が上がっており、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、「データ科学特論Ⅱ」を学生だけでなく公開講義として開講し、多くの大学教員・研究員・PD等が受講しており、受講者から高い評価を受けるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、基礎工学研究科全体および全専攻領域の各単位において、26年度12月時点の評価資料に基づき、17名の外部委員による評価を実施したほか、広報企画推進室の設置、研究科将来構想WGの設置と「基礎工学部、基礎工学研究科の将来構想-次の半世紀に向けて-」の作成など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、英語自習支援の実施、基礎工学オーナーフラタニティープログラムの実施、ERATOへの新規採択、所属教員の文部科学大臣表彰若手科学者賞の受賞、外部評価の実施など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>